

これからの活動予定

これからの BOAT の活動予定を紹介します。お時間がありでしたらぜひ足を運んでみてください！



ながさき国際交流フェスティバル

今年 10 月 25 日に出島国際会館で開催されるフェスティバルに BOAT も出展することになりました！
内容は、フィリピンの NGO から届いたジュースパックのフェアトレード商品や、中央アフリカ共和国のネックレスやバンダナ、黒炭で作ったナイフなどを販売する予定です。また、これまでの活動写真や DVD をスライドで上映します。もちろん活動報告をまとめた恒例のパネル展も開催！
みなさんのご来場を当日、ブースにてお待ちしております！



【現在本番へ向け商品の準備中です！】

フェアトレードとは
現地で作られた商品をフェア(均等)な価格で取引し、日本で販売することです。このため、商品の価値に見合った正当な金額が現地の人たちへ手渡されることになります。



BOAT ブログ開設！

BOAT の日々の活動やメンバーの普段の様子などについて更新しています。ぜひ一度ご覧ください！

【アクセス方法】

ホームページのトップから、BOAT ブログの画像をクリック
ブログの URL (<http://ameblo.jp/ngoboat/>) を入力

～長崎の学生たちによる学生 NGO 団体～

学生国際 NGO BOAT

活動拠点：長崎大学文教キャンパス



学生国際 NGO BOAT とは

2004 年のスリランカ・スマトラ沖津波被災の際に、長崎大学熱帯医学研究所の教授から「学生でも何かやってみないか」というお話に賛同した大学生たちが立ち上げた団体です。
これまでスリランカ、インドネシア、中国四川省などに渡航し、支援活動を行いました。また、継続的な支援としてアフリカの栄養失調児への栄養補助「3ヶ月里親プロジェクト」を2008年8月より開始しました。

E-mail: boatotoiawase@live.jp

HP: http://www.geocities.jp/boat_students/index.htm (NGOBOAT で検索！)

最近の BOAT

共催していた「地球のステージ」が終わり、現在は一息ついているところです。地球のステージについては隣の記事に掲載しているので是非ご覧ください。さて、春に勧誘をおこなった結果今年もたくさんの一年生が BOAT に入部してくれました。最近のミーティングでは、一年生に 3ヶ月里親プロジェクトや海外渡航など、これまでの BOAT の活動について説明をしてきました。それによって一年生に BOAT の活動をさらに知ってもらえたと同時に、上級生にとっても自分たちの活動を見直すきっかけにもなりました。

また現在の BOAT は一年生も含めて新プロジェクトに向けて動き出しています。プロジェクトの内容は昨年のプラネタリウムチャリティーコンサートに代わるようなイベント、BOAT の活動や国際支援について知ってもらうことを目的とした雑誌の作成などです。この活動が今年度の BOAT を支えていく活動になるのではないかと思います。今はまだ班ごとに週一回集まり企画を練っている段階ですが、それぞれが少しずつ形になりつつあります。早く軌道に乗って良いお知らせが出来るよう、部員一同頑張っていきたいと思います。



3ヶ月里親プロジェクト報告

現在プロジェクトは第三期の二ヶ月目が経過し、残すところあと一ヶ月となりました。月日が経つのは早いもので、プロジェクトが始まってからまもなく丸一年になるようとしています。

体重測定の結果、診療所に通う栄養失調児たち全体の平均としては、一ヶ月目に体重が下がってしまいましたが、二ヶ月目では大きく増加しました。しかし第一期・第二期と比べると(栄養失調の子どもたちそれぞれの年齢は違いますが)、子どもたちの体重と正常体重域に差が大きく、厳しい状態です。三ヶ月目はより正常体重域に近づいてくれればと思います。

子どもたち一人一人で見ると、多くの子は順調に体重が増加していますが、逆に体重が減ってしまった子もいます。また今月になり、残念ながら診療所に通ってこなくなった子もいました。これらの原因として、家から診療所への距離が遠すぎて通うことが困難であることや、家庭内での事情などにより通えなくなったことなどが考えられます。

今年の3月にメンバーの一人が中央アフリカ共和国へ渡航し、3ヶ月里親プロジェクトの様子を見てまいりましたが、8月にもまた別のメンバーが渡航する予定です。現地の様子を見て調整を行うことで、3ヶ月里親プロジェクトをさらによいものにできるのではないかと思います。

(長崎大学環境科学部2年 小田晴輝)



BOAT のイベント

～地球のステージ～

前回の BOAT レターでお伝えしました「地球のステージ」長与公演が、6月20日に長与町老人福祉センター大ホールにて開催されました。

今回のイベントに BOAT は共催として参加し広報活動や会場設営、パネル展の展示を行いました。パネル展ではたくさんの方に見ていただき、多くの激励の言葉をいただきました。

「地球のステージ」は、世界55ヶ国以上の紛争地で医療救援活動が行われている精神科医の桑山紀彦氏による映像、音楽、語りを融合したステージです。今回の公演では、インド、フィリピン、ソマリア、東ティモール、旧ユーゴスラビア、ガザを舞台にストーリーが組み立てられていました。

当日は200人以上の方に足を運んでいただきました。このステージの内容はあらゆる年代の方にも分かりやすく、会場全体が集中し、私も傾聴しながら鳥肌が立ちました。インド、フィリピンは発展途上国支援を行っている私たちにとってとても身近に感じられ、さらに私たちが行っている活動と重ねながら日本人という同じ視点、医師という違う視点で様々なことを感じました。発展途上国でも変わらない、それどころか日本では見られない子どもたちの笑顔の映像を映しながら桑山氏が問いかけた「真の豊かさとは何か?」という言葉や、アフリカの子どもたちの姿も思いながら考えていました。ソマリア、東ティモール、旧ユーゴスラビア、ガザのステージでは、桑山氏の情熱を感じさせられる一方、戦争を生で見たことがない私たちはショックを受けるとともに、日頃戦争を遠くに感じていることに改めて気付かされました。



【パネルの説明をするメンバー】



【会場の様子】

また公演後に行われた桑山氏との座談会では、私たちが日頃の活動で抱いた質問や疑問にわかりやすく答えていただきました。特に「私たちの活動が役に立っているかわからない」という疑問に対しての「私もまだ分からない」という桑山さんの答えには、こんなにすごい人でもそう思うのか、と驚かされたと同時に国際協力の難しさを感じました。

今回の公演を通して私たちは、海外支援の大切さを改めて考えさせられたとともに、私たちの活動をうまく伝えるためのヒントを得られたような気がします。最後になりましたが、本公演にご来場いただいた皆様、ありがとうございました。

(長崎大学工学部2年 三浦裕貴)

メンバー研修記



メンバーが実際に見た中央アフリカ共和国の様子についてレポートします。今後も連載予定です。

中央アフリカの人々の移動手段の多くは乗合バスです。

日本で例えるならば8人乗りの車ででしょうか。どれも緑色をしており、毎日の通勤・通学ラッシュに活躍しています。本数や路線もかなり多いです。ちなみにどの車も定員オーバー気味です。また、停留所は目印がなくおおまかな位置で止まっています。他にもタクシー（こちらは黄色）もありますが、乗合バスの方が値段も安いので好んで利用されています。マイカーを持っている家庭もありますが、診療所に通う子供たちの家庭にはほとんどありません。

実はバスの一部の運行を日本の企業である「TODA コーポレーション」が行っています。この企業はマイクロバスを所有しているので、普通のバスよりもたくさんのお客さんが乗れますが、これもいつも満員です。現在のところこの企業以外の日本人定住者は国連職員の方など合わせて数人ほどだそうです。数年前までは日本の大使館もありましたが、先の内乱で撤退してしまいました。しかし相次ぐ中国企業の進出を受け、近々また戻ってくる予定だそうです。

(県立長崎シーボルト大学国際交流学科3年 出町卓也)



『3ヶ月里親プロジェクト』1周年を迎えて

この8月に3ヶ月里親プロジェクトが始まって1年が経ちます。皆様のご協力のお陰で1年に123名の里子にご飯を提供することができました。(回復やドロップアウトによって代わりの子供が入っているのもっと多いかもしれません)

この数は、アフリカで栄養失調状態にある子供のほんの一部に過ぎません。しかし、遠いアフリカの地に対して、支援者が支援を実感でき、また誰を支援しているのか明確な双方向での支援へ一歩踏み出せたのは大きな事であると思います。今後もこのプロジェクトを通して、より多くの方にこの問題に関心をもって頂き、少しずつ支援の幅を広げていきたいと思っております。

また、現地とは頻りに連絡することができず調整が難しいこともあるため、時には報告が遅れたり、一部の子供と連絡がつかなくなったりと、里親の方々にはご迷惑をお掛けすることもありました。

それでも多くのリピーターの方、長い予約待ちを承知でお申し込みをして頂いている多くの方々によってこのプロジェクトは支えられています。

私たちはこの想いを深く受け止め、より良い形でプロジェクトを継続していきたいと思っております。今後も、中央アフリカ共和国の栄養失調児のために、現地の子供たちと日本人の人々との心の距離を少しでも縮めることができるような活動をしていきたいと思っておりますのでこれからもご支援のほどよろしくお願い致します。

(長崎大学経済学部3年 代表 井上隼人)

～BOAT新入生の意気込み～



今年も、BOATには長崎大学、県立大シーボルト校などからたくさんの新入生が入部しました。

入部してから約4か月！そこで新入生のコメントを紹介したいと思います。

私は大学に入学してBOATに入るまでボランティアや国際協力に全く興味がなく、どちらかといえば「ただ働きたい」と感じていました。しかしBOATに入って、先輩方の活動や講演会をきく機会を持つことができ、考えが変わりました。ボランティアを通して逆に私たちが様々なことを学ばせてもらっていると気づき、やってみよう！と思う事がたくさんできました。

これから4年間、BOATを通して色々なことにチャレンジして、なりたい自分に近づいていきたいです。

(長崎大学経済学部1年 本田夕紀)

BOATに入って2か月ほどたちました。毎回楽しく参加させてもらっています。BOATには色々な活動があるので、積極的に参加して多くの人とのつながりが持てれば良いなと思っています。

(長崎大学経済学部1年 岩井香央里)

BOAT に入って最初はプロジェクトについて何も知らなかったけど、丁寧に何度も説明していただき、とても勉強になっています。

最初の活動が終わり、実際はあまり働けてなかったけど、良い経験になりました。これからは新プロジェクトを盛り上げていきたいです！

(長崎県立大学シーボルト校国際交流学科1年 當瀬悠佳)

新たなメンバーとともに、これからも一生懸命に、そして明るく楽しく活動していきます！！

- お知らせ -

今年3月のメンバー渡航に引き続き、8月に副代表の磯道岳歩(長崎大学工学部2年)が中央アフリカ共和国へ渡航することが決まりました。期間は8月12日から26日の2週間の予定です。3ヶ月里親プロジェクトでも協力している「NGO アフリカ友の会」の診療所で研修及び三ヶ月里親プロジェクトの調整を行います。